

くしまっ子

入隊おめでとうございます

今年度、本市から11名の皆さんが自衛隊へ入隊しました。日本の平和と国民の生活を守る崇高な任務に就くために自衛官になることを決断された皆さんを大変頼もしく思います。

入隊後の教育訓練を受けるにあたっては、不安もあるかと思いますが、陸上自衛隊第117教育大隊神奈川県武山駐屯地へ入隊した



今後の活躍に期待します！

自衛隊新入隊員者



○一般曹候補生

陸上 武山駐屯地(神奈川).....野辺 裕弥さん
 航空 防府南基地(山口).....谷川 麗奈さん

○自衛官候補生

陸上 都城駐屯地.....世良田 陽さん 日高 聖永さん 渡邊 十夜さん
 久留米駐屯地(福岡).....隈田原 唯さん 野邊 里穂さん
 海上 佐世保教育隊(長崎).....井上 雄太さん
 航空 防府南基地(山口).....江藤 瑞樹さん 武田 浩孝さん
 航空 岐阜基地(岐阜).....横山 月奈さん ※令和元年8月入隊

野辺裕弥さんは、「国民の身近な存在である立派な陸上自衛官を目指して日々の訓練に励み、串間の誇りとなるよう精一杯頑張りたい」と力強く語っていました。

本市出身隊員として、大きな使命感を持って自衛官としての一歩を踏み出す皆さんの今後の活躍が期待されます。

第62回(令和元年度) 宮崎日日新聞農業技術賞贈呈式

主催/宮崎日日新聞社 協力/宮崎県



宮日農業技術賞、個人の部複合経営部門で表彰

農業を通じて地域に貢献していきたい

今年の1月17日、先駆的な取り組みで、本県農業の発展や地域活性化に貢献した農業者らに贈られる「第62回宮崎日日新聞農業技術賞」の贈呈式が宮崎市の宮日会館で行われ、本城地区で串間いちご畑おにつか農園を営む鬼塚晃・里美さんが個人の部、複合経営部門で表彰されました。

晃さんはキンカン、ミカン農家である父の次男として誕生し、宮崎県立農業大学校卒業後、宮崎県総合農業試験場果樹部で1年間かんきつ栽培を学び、平成5年から父の元で働き始めます。その後、父の跡を継ぎますが、「気軽に農業に親しんでもらいたい」という思いから、平成14年にミカンの生産から転換しイチゴの栽培を始め、翌年イチゴ狩りを開始し観光農園としてスタートします。また、平成19年からは、日向夏を栽培し全国的に珍しい収穫体験を行っています。

現在は、イチゴ、日向夏、キンカン、スターフルーツの複合経営を行っている鬼塚さん夫婦。経営の主力であるキンカンを、11月からの早期出荷と、1月からの完熟出荷に分けることで労力を分散し、1年を通して安定した出荷体制を構築しています。また、日々農園全体を観察



串間で活躍する人を紹介します

きらめき図鑑 kirameki

して病虫被害の発生を最小限に抑えるなど品質管理を徹底しており、収量、品質ともに県内トップクラスの成績を収めています。

「観光農園を始めた頃は、栽培方法や人の呼び込み方が分からず大変だったが、地域の方々やお客さまに支えられここまでやってこれた」と二人は感謝の気持ちで話します。

年間約1万人以上が訪れているおにつか農園。その中でも人気のあるイチゴ狩りは、毎年12月から5月下旬までの約半年間行っています。

イチゴが摘みやすい高設栽培を採用しており、子どもから年配の方まで世代を問わず楽しめるのが大きな魅力です。また、同農園が始まった当初から、晃さんの父の弟が営む入園無料のふれあい牧場が併設されており、ポニーやヤギ、ウサギなどさまざまな動物に触れ合うことができ、家族連れを中心に人気を集めています。

「今回の受賞を励みにさらに勉強して、品質、収量を高めてお客さまに喜んでもらえるよう頑張りたい」。また、「今後も農業を通じて地域のために貢献していきたい」と今後の目標を二人は話します。



おにつか あきら さとみ 鬼塚 晃・里美さん (本城地区・上千野)

串間いちご畑おにつか農園を夫婦で営みながら、子ども2人を育てる。



近年人気を集めている日向夏収穫体験の様子



宮日農業技術賞での宮崎県知事との記念写真

地域おこし協力隊

活動日記

vol.36 黒スーツ事件。

たなか たかし 田中 崇史さん



今年の1月から地域おこし協力隊として活動させていただいている、田中崇史です。実は活動前からハプニングも多々ありまして、記念すべき1発目は着任前の「黒スーツ事件」でした...

昨年の11月に協力隊の面接があり、その数日前からとあるゲストハウスに滞在していま

した。面接があるため実家に「黒いスーツとネクタイをゲストハウスに送ってください」と頼みました。面接日も近く、緊張が続いていた日々でした。そんな中、面接日前日の夕方に段ボールが届きました。

段ボールを開けてみると、それはそれは黒い「礼服」が入ってありました。驚きのあまり固まってしまい、混乱しながら「礼服でも面接に行けるのでは？色は黒いし...」と考えていました。しかし、礼服の下にあった「黒いネクタイ」を見て、「これはダメだ、面接に行ける格好にならない」と正気に戻りました。

ですが、礼服が届いたのは面接日前日の夕方、車が無い状況、徒歩でスーツを買いに行ける場所は無い。「私服で行くしかないか...」

と覚悟を決めようとしたその瞬間、救世主が現れました。その救世主とはゲストハウスのオーナーさんです。「少し小さいかもしれないけどスーツを着ていいよ、面接頑張って」と声をかけてくださいました。このオーナーさんのおかげで私は地域おこし協力隊になれたと言っても過言ではありません。

そして、そのゲストハウスこそ大東にある、「ゲストハウスたけだ」です！ぜひぜひ、大東にお立ち寄り際には足を運んでみてください。とてもとても優しい武田ご夫妻にお会いできます！

＜串間市公式サイトにて活動報告も掲載中です！「串間市地域おこし協力隊活動報告」で検索をお願いします！＞